

報道関係各位

レジにイス、始めました。

～立ち仕事に一息を。笑顔あふれる接客のために～



京都生活協同組合（本部：京都市南区、理事長：高倉通孝、略称：京都生協）では、職員の労働環境の改善と持続可能な店舗運営の一環として、2025年2月より全店舗にてレジ業務用イスを導入しています。導入に対し、職員・組合員双方から好意的な声が寄せられています。

近年、レジ業務をはじめとする接客業務において、立ち仕事による身体的負担の軽減が課題として注目されています。京都生協でも、組合員の「レジの方にもイスを用意してあげては？」という温かい声をきっかけに、「レジイス」導入の検討を開始。試験導入店舗での職員の声を反映し、「待機中にちょっと腰掛けられるイス」として現場で活用しています。

【導入のねらい】

- レジ業務中の身体的負担の軽減
- 接客時の笑顔とパフォーマンスの維持
- 働きやすい環境づくりによる職員の定着と満足度向上

【組合員・職員の声】

- 「元気の職員を見て、自分もお買い物に来るのがうれしい」
- 「職員が働きやすい環境が整備されていていいですね」
- 「学生アルバイトや主婦パートも積極的に使っていて、良い流れを感じる」

今後も京都生協は、「誰もが安心して働き、誰もが心地よく買い物できる店舗づくり」を目指し、現代のニーズに応じた柔軟な取り組みを進めてまいります。

【ご取材、新聞掲載に関するお問い合わせ窓口】

京都生活協同組合 サステナビリティ推進部 広報

TEL：075-672-6304

WEB：<https://www.kyoto.coop/>

組織プロフィール

